



集合写真



スギの観察



製作指導①



スギの説明



製作指導②



やまがた木育プログラム体験会

スギのストラップづくり

ゆめはーと寒河江



8月8日(木)、寒河江市総合子どもセンター「ゆめはーと寒河江」で、やまがた木育プログラム体験会「スギのストラップづくり」を行いました。やまがた木育人材養成講座「スキルアップ」修了者である明日美さん、鈴木美穂さんの2名が講師として指導にあたりました。参加者は18名の子どもたちです。

はじめに、明日さんから、「スギの特徴」や「森林のはたらき」について解説がありました。子どもたちはスギの葉や丸太に触れながら、クイズ形式で学びました。スギは柔らかく、軽く、木目がはっきりしているため、木材として全国的に利用されていることを学びました。

次に、鈴木さんからストラップ製作について説明がありました。スタッフが子どもたち一人ひとりを指導しながら、スギの木を紙やすりで削りながらキレイに仕上げます。講師から、紙やすりの使い方、力任せに削らず、効率よく削るコツを教わりながら、製作に取り組みました。

子どものみの参加であったため、集中力をきかせないよう、また、水分補給の休憩タイムを設けるなど特に注意しました。

子どもたちは、普段木材を使って何かを作る経験がなかったようで、今回の体験は新鮮で興味深いものとなりました。夏休みの良い学びに繋がったようでした。

作成日
2024年8月27日
やまがた森林と緑の推進機構 緑化推進課

ひとこと

ストラップ用の配付したスギの木片は、白とやや黒みがかった色の2色から選んでいただきました。参加者にとって同じ木なのに色が違うことの発見となぜ違うのかという疑問がよい導入となっていたようでした。

森林機能の役割については興味深く聞いている様子で、最近の台風や豪雨などの影響で関心が高い内容であったのかと思われます。(担当S)

【参加した方の感想】

- ・紙やすりの数字が上がると、さらさらになることを学んだ
- ・スギの葉や木の事を知れてよかった
- ・スギの木はとても軽かった
- ・スギは花粉の多い木だと知っていたが、花粉の少ないスギがあることを学べた
- ・雨水を吸収し、水をきれいに行っていることを学んだ

【スタッフの振り返り】

- ・比較的集中し、イベントに取り組んでいるようであった
- ・水分補給の休憩タイムを設けたのはよかった
- ・やすりを十分に使わないまま、交換したいという参加者がいたため、次回に向けてお手本を示すと伝わりやすいかと思われる